

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	基礎デザイン実習A	
科目基礎情報							
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	1 年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位		開講時間	木曜1時限～		授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。						
担当教員情報							
担当教員	堀越 拓水			実務経験の有無・職種	有・デザイナー		
学習目的							
この科目を受講する学生は、基礎デザインとしてデッサンの技術を修得します。描写基礎技術および二次元平面で展開させる造形力の養成と視覚伝達トレーニングを行ない、これから経験していく仕事の現場で、役に立つデッサン力を学び、デッサン用具の正しい使い方とパースの理解とデッサンの方法を身に着けるようになります。デッサンのトレーニングから表現を理解し、人に伝達していくプロセスを通じ、視覚伝達を学びます。積極的に学び、よく観察することができるようになるのがねらいである。							
到達目標							
この科目では、学生が、基礎のデザインとしてデッサンの実習から観察力、描写力を学び、平面で展開させる基礎造形力を養い、デザイン業界で活躍するために必要になる基本技術を向上させ、段階的に道具の使い方、対象物の様々な情報を引き出せる感受性を養います。2次元平面の表現を理解して、描写力を養い、対象物をよく観察してデッサンで表現ができるようになることを目標にしている。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、観察する対象物を使い、講師からの解説を受け、デッサン用道具の使い方から、立方体と多面体、室内、建築、動物、静物のデッサン、または、トレースをして、段階的に技量を向上する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「基礎デザインのデッサン力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デッサン力」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。						
注意点	この授業では、初心者段階の学生にデッサンの表現から、デザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。デッサンの仕方、表現を知り、今後、実習授業時で求められるアイデアスケッチができるように考えた基礎になる実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する				
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する				
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	授業オリエンテーション		道具説明、鉛筆の削り方 グラデーション、線についてのレクチャー				
2回	基礎形態1		「手」フリーハンドで				
3回	基礎形態2		「ティッシュ箱」				
4回	基礎形態2		「ティッシュ箱」				
5回	基礎形態3		「缶」				
6回	基礎形態3		「缶」				
7回	基礎形態4		「動物」トレース				
8回	基礎形態4		「動物」トレース				
9回	基礎形態5		「建物」トレース				
10回	基礎形態5		「建物」トレース				
11回	基礎形態6		建物風景1				
12回	基礎形態6		建物風景2				
13回	基礎形態7		卓上デッサン1				
14回	基礎形態7		卓上デッサン2 講評会				
15回	実技テスト		実技テスト 「手」				